

〔参考〕策定団体の例（地域住民へのアンケート）

- 山梨県大月市では、地域計画の基礎資料とするため、策定に際して住民アンケートを実施し、その結果を地域計画に掲載しています。

（アンケート票）

（資料）一般用アンケート

II 強靱な地域への方策に関することについてうかがいます。

問6 あなたは、あなたの住んでいる地域が災害に対し安全だと感じていますか。それとも危険だと感じていますか。（1つに○）

- | | |
|----------------|----------|
| 1 安全 | 2 ある程度安全 |
| 3 安全とも危険ともいえない | 4 多少危険 |
| 5 危険 | 6 わからない |

問7 今後起こりうる大規模自然災害として、脅威に感じる災害を2つまで選んでお答えください。（2つまでに○）

- | |
|----------|
| 1 地震 |
| 2 富士山の噴火 |
| 3 土砂災害 |
| 4 豪雨災害※2 |
| 5 豪雪災害 |
| 6 その他（ ） |
| 7 わからない |

※2 この場合の豪雨災害とは、極めて短時間に降る集中豪雨により発生する災害とする。

問8 大規模自然災害に事前に備えるべき目標として、優先度が高いと思われる目標を2つ選んでください。（2つに○）

- | |
|--|
| 1 災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られること |
| 2 災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われること |
| 3 災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保すること |
| 4 災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保すること |
| 5 災害発生後であっても、経済活動を機能不全に陥らせないこと |
| 6 災害発生後であっても、生活・事業活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること |
| 7 制御不能な二次災害を発生させないこと |
| 8 災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること |

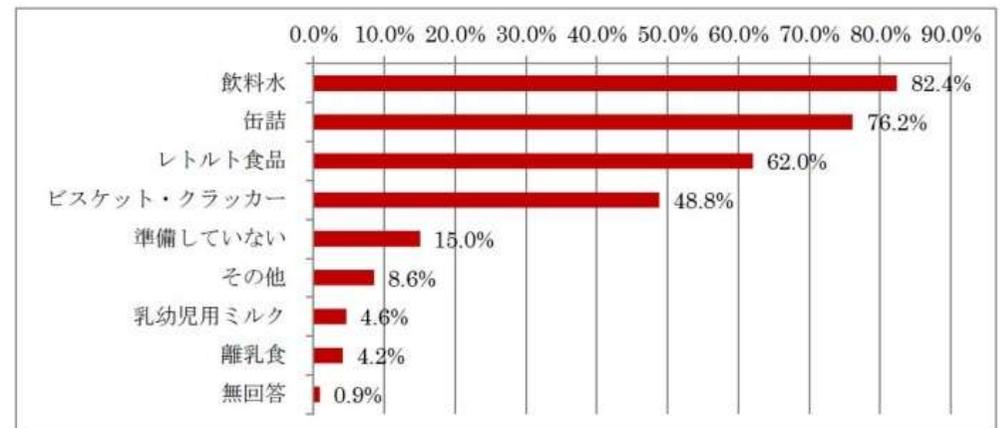
（アンケート結果）

問 大規模自然災害に事前に備えるべき優先度が高いと思われる目標 (N=862)



3 強靱な地域に関する各家庭の取り組み

問 災害に備えて、水・食料などの備蓄として準備するもの (N=1308)



（出典：大月市強靱化地域計画）

〔参考〕策定団体の担当者の声

—まちづくり協議会との連携やワークショップで住民に浸透—

「策定時に、区長、消防団、まちづくり関係者、民生児童委員、日赤奉仕団等とともにワークショップを行ったところ、自治体職員だけではわからない地元ならではの意見、例えば、〇〇地区のあの川は氾濫したら危ないかもしれないとか、この細い道路は万一の時には崩れそうだ、などといった声が上がりました。

それらの声を地域計画の中に取り入れたので、庁内で作った案よりも内容を充実させることができました。

また、ワークショップを実施したことで、より多くの住民の方々に地域計画を知ってもらうことができたのではないかと思います。

各地区で立ち上げているまちづくり協議会の懇親会では、防災や減災に向けたテーマもたびたび取り上げられているようです。全国で度重なる災害のニュースで住民の方々も防災については心配し、意識しているようですね。こういう取組が地元の強靱化につながると思います。今後もこのような取組と連携して、ともに地域の強靱化を進めていきたいですね。」